

問答形式による、「最終版」作成に向けての重要論点整理

⑤ 「神代」は、神武以降の史実（建国史？）を俯瞰（デフォルメ？）したもの?!

- I:そこで、若干唐突ですが、件の「記紀神話（神代）」は、そうした「神武以降の史実（建国史?）」を俯瞰したものということになりませんか?もちろん、それが、BC660年（神武即位）頃からというのは嘘だと思えますが、おそらく3世紀後半?（纏向祭政都市）の出現からの史実をデフォルメ?したものであるということですが?
- D:考えてみれば、案外そうだとも言えるかもしれませんね?!自国の歴史を古く見せるために、しかも、神秘的な?国とするために、可能な限りの情報（ネタ?）を集め、それを再構成したということでしょうが、そこには、大きなモチーフ（動機・目的）があった?!つまり、それを、知り得ている神武以降の史実叙述（「人代」）のシナリオ（構想骨組み）とするということであった?!
- I:そうすれば、神話ファンには、かなりの興覚めとなるのかもしれませんが、神武以降の「人代」の記事が書きやすくなるし、そもそも自らが欲する歴史を創り出すことが出来る（史実と創作?を混濁させられる?）?!その意味で、「神代」と「人代」は二重の関係、つまり、表向きは「時間的な前後関係」、しかし、事実上は「同時進行関係」である?!
- D:いやはや、とんでもないことが出て来ましたねえ!確かに、これまでは、一応「神話は神話、歴史は歴史!」というように、双方はほとんど（全く?）別の位相で捉えられてきたわけですが、両者の関係が、まさしくそういうものであれば、ある意味ブレない?建国史が描けるということにもなりますね?!しかし、そうなると、これはまた、大変な発見?となりますよ!まあ、多少マンネリズム?を感じている私ですから、新たな挑戦?の契機とはなりますが…いずれにしても、私にとっては、身震いする程の新説（珍説?）となりますね?!
- I:そういうことは、私には、直接関係ありませんが、あなたのような自由な執筆家?に出来ることは、そうした、言わば「奇想天外（奇的?）」な考察（推理?）と言えるのではありませんか?
- D:自分で言うのも何ですが、確かに、その通りですね!多少、癪ですが（笑）?
- I:とにかく、部分部分では、辻褄が合わないところ（不整合?荒唐無稽?）があっても、全体としてみれば、ある一つのストーリー（流れ、着弾地）が描ける?!要は、そのためのシナリオ（構想骨組み）があったからだということですよ?!そして、多分?例の「淡海三船」は、そうした事情（からくり?）を知っていた?だから、「神」の使用も、うまく出来た?そういうことですね?!
- D:あなたも、随分と専門家?になってきましたね?まさしく、そういうことも言えるのかもしれませんが、ここで、改めて一番の大きなテーマ（枠組み）は、「天孫降臨」と「国譲り」ということになると思いますが、単純に言えば、「高皇産靈神/天照大神（側）」と「神皇産靈神/素戔嗚命（側）」の関係ですね?!
- I:前者が「高天原系」、後者が「根の国系」ということですよ?!
- D:そうです!それは、「上山春平」という人が指摘されていたということですが、その予定調和的な流れ、着弾（「記紀」の思惑?）はともかく、我が国の建国は、その「高天原系」の勢力が、「根の国系」の勢力に国譲りをさせて（屈服させて→乗っ取り?）実現したものであるということですか?!
- I:つまり、それは、前者が「持統・藤原政権」であり、後者が「蘇我・物部政権」であるということですか?!
- D:否、それは、まだ何とも言えません!最終的には、前者が後者を退けて、政権（王権）を勝ち取ったことは間違いないと思いますが、その政権・勢力が、直前の、「百濟系」同士のそれだったのか、それとも、3世紀以降の、「江南系」あるいは、その後の「伽耶・新羅系」との関係であるのかは、簡単には同定できません?!
- I:とは言え、その「高天原系」がどういう勢力・氏族を表しているのかはともかく、もう一方は、「出雲（系）」ということは分かっていますよね?だから、そこら辺りから、改めて考察出来ないのでしょうか?!
- D:確かにそうなのですが、実は、その「出雲（系）」も、単に地理上の「出雲（島根県）」だけでしたら、まだ分かり易いのですが（それでもかなり複雑?）、他ならぬ近畿大和にも「出雲（系）」はあり（地名もある!）、それらを包含した、言わば「全体の出雲（関東・東北まで?）」が、そこにあるのです!しかも、「持統・藤原政権」が、かの「高天原（系）」と称する勢力・氏族よりも、彼らは、先に?そこにいたのです!
- I:だとしたも、「出雲（系）」が先にいたから?、「（出雲の）国譲り」というものも実現したわけですから、時間的な関係で言えば、その辺りから突っ込んでいける?そういうことなのではないですかねえ?
- D:それはその通りでしょうが、現在、その「高天原系」と称する勢力・氏族は「吉備」であり、例の纏向遺跡は、彼らを中心にして出来上がったものと考えられます!
- I:ということは、やはり彼らが、「高天原（系）」ということになりますか?
- D:私も、そのように捉えています。その「高天原系」と称する勢力・氏族が「吉備」であれば、例の「高天原神話」は、本当は「吉備と出雲」（中国地方）の地で繰り広げられた史実を投影させているもので、その後の物語は、その双方の関係が、近畿大和（以東を含む!）でも繰り広げられたものとも言えます?